

アクレックス 3560 カウンター用 2液クリヤー
アクレックス 3562 カウンター用 2液フラット半ツヤ
アクレックス 3565 カウンター用 2液フラット

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

アクレックス 3560 カウンター用2液クリヤー
 アクレックス 3562 カウンター用2液フラット半ツヤ
 アクレックス 3565 カウンター用2液フラット

アクレックス 3560 カウンター用2液クリヤー(各フラットを含む)は、VOC含有量を0.3%未満(計算値)に抑えた環境対応型水系ウレタン塗料です。溶剤系ウレタン並みの優れた塗膜性能と耐久性を持ち、厳しい性能を要求される「カウンタートップ」などにも使用することが出来ます。主剤と硬化剤の混合性が良く、混合した2液を良く振るだけで均一に混ぜることが可能であり、少量の使用でも容易に取り扱うことが出来ます。

- ・アクレックス 3560 カウンター用2液クリヤー 主 剤
- ・アクレックス カウンター用2液専用硬化剤

混合比 主剤/硬化剤 = 10/1 (重量比)
 (主剤は光沢により選択してください。)

§ ホルムアルデヒド放散等級 (F)

アクレックス	3560	カウンター用2液クリヤー	W01334
アクレックス	3562	カウンター用2液フラット半ツヤ	W01335
アクレックス	3565	カウンター用2液フラット	W01336

§ 用 途

木質カウンター・テーブルトップ 等 屋内木部全般

§ 艶 消 度 合

	3分消	5分消	7分消	8分消
カウンター用2液フラット	20	40	75	100
カウンター用2液クリヤー	80	60	25	-

§ 使 用 方 法

1. 使用前に主剤をよく攪拌して下さい。(特にフラット)
2. 主剤に専用硬化剤を添加し(主剤:専用硬化剤 = 10:1 重量比)、よく振って均一に混ぜ合わせます。(その際に必ず均一に混ざっているかどうか、別容器に移すなどして確認して下さい。混ざりが悪いと底の方に透明なツブが沈殿します。)その後、15分間程度放置して泡を抜いて下さい。
3. 基本的には原液でお使い下さい。乾燥が早くて塗りにくい場合などは水で希釈して下さい。(希釈しすぎると肉持ちや光沢が落ちますのでご注意下さい)
4. 混合後の塗料の使用可能時間は約3時間です。

主剤と硬化剤の混合比、可使時間を厳守して下さい。性能低下の原因となります。
 (ゲル化しなくても可使時間を過ぎている場合がありますのでご注意下さい。)

主剤と専用硬化剤を添加後は、すみやかに混ぜて下さい。

使用の前には本書後半にある注意事項を必ずお読み下さい。

§ 塗料性状

外 観	主 剤 ;乳白色液体 専用硬化剤;無色透明液体	
粘 度	18 ~ 22 秒	混合後 4 フォードカップ / 25
不揮発分	41 ~ 43 %	混合後 (計算値)
凍結安定性	主 剤 ;異常なし 専用硬化剤;異常なし	-5 18時間 室温 6時間 5 サイクル
保管安定性	主 剤 ;異常なし 専用硬化剤;異常なし	50 1ヶ月保管

§ 乾燥性目安

塗布量 100g/m²

乾燥時間 指触 30分、指圧 4時間 (気温/湿度、20 / 50%)

条件によって乾燥状況は変わりますので参考として下さい。

§ 可使時間目安

主剤/専用硬化剤混合後 約3時間 (高温になる夏場は短くなる傾向があります。)

(ゲル化しなくても可使時間を過ぎている場合がありますのでご注意下さい。)

§ 標準塗布量

1 回に80 ~ 100g/m²の塗装を 2 ~ 3 回塗り

< 塗装回数 >

リフォーム塗装か、新規塗装かによっても塗布回数による仕上がりが変わります。
特に新規塗装の場合、厚い塗膜を形成する為には3回塗り又は4回塗りをして
頂くケースもあります。

素材の吸い込み具合の違い等から、塗布量や塗布回数が変わることがあります。

§ 塗膜性能

カバ合板 3回塗装 23 にて7日間養生

項目	結果	条件
耐汚染性		醤油 スポットテスト 24 時間 ウスターソース スポットテスト 24 時間
耐酸性		5%酢酸水 スポットテスト 24 時間
耐アルカリ性		5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24 時間
耐水性		水道水 スポットテスト 24 時間
耐アルコール性		60%エタノール水 スポットテスト 24 時間
耐溶剤性		塗料用うすめ液 スポットテスト 24 時間 キシレン スポットテスト 24 時間 ラッカーシンナー スポットテスト 24 時間
耐マジック性	黒 赤	24 時間後ベンジンふき取り
耐クレヨン性	黒 赤	24 時間後ベンジンふき取り
耐インキ性	黒 赤 ×	スポットテスト 24 時間
耐湿熱性		300 cc沸騰水入りビーカー 1 時間放置
鉛筆硬度	HB	ガラス板 5 ミル 23 にて 12 日養生

§ カウンター用 2液クリヤー が上塗りの時の密着性

	研磨有り	研磨無し
アクレックス 3000 ホアステイン		
原液 拭き取りなし	-	×
原液 拭き取りあり	-	
原液/水 = 1/1 拭き取りなし	-	
原液/水 = 1/1 拭き取りあり	-	
アクレックス 3900 ネオステイン	-	
ワシン エコステイン	-	
アクレックス 3400 木部用ウレタンクリヤー		
アクレックス 3500 フロア		
アクレックス 3520 2液フロア		
アクレックス 3550 白木		
アクレックス 3600 アク止めシーラー		
アクレックス 3350 サンディング		
ワシン エコフロア		
ワシン エコ フィーバークラック		
ワシン Non TX ウレタン		
ワシン アンダーシーラー		×

これらはテーブルテストでの結果であり、実際には事前の確認をお奨めします。

§ 塗装工程 (例)

工程	使用塗料	塗布量	乾燥時間	備考
素地調整	P150サンドペーパー で研磨			
着色	アクレックス 3000 ホアステイン 50 水道水 50	60g/m ² 塗装直後にウェ ス等で拭きあげ	1時間以上	刷毛
下塗	カウンター用2液クリヤー(又は 各フラット)主 剤 100 専用硬化剤 10 水道水 0~5	80~100g/m ²	4時間以上	刷毛 コテ刷毛 スモーカー
研 磨	P320サンドペーパー で研磨			
上 塗	カウンター用2液クリヤー(又は 各フラット)主 剤 100 専用硬化剤 10 水道水 0~5	80~100g/m ²	一夜放置	刷毛 コテ刷毛 スモーカー

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので、参考として下さい。

木地を完全に覆うような仕上がり等を求める際には、研磨 塗装で、クリヤーを合計3回塗り又は4回塗りを行って下さい。その際、素材の吸い込み具合の違いもあり、塗布回数が変わる事もあります。

光沢を消す場合にはカウンター用2液フラットをお使い下さい。

§ 使用上の注意

気温5℃以下での塗装や多湿の際の塗装は、硬化時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、求める塗膜性能が得られない場合が有りますので避けて下さい。

主剤と専用硬化剤を添加後は、すみやかに混ぜて下さい。
主剤と専用硬化剤を混入後、缶を振って混ぜ合わせる際には、ある程度振ってから少し放置させてなじませ、その後再度振ると混ざりやすくなります。

可使時間を過ぎると性能が得られなくなりますので厳守して下さい。
(ゲル化しなくても可使時間を過ぎている場合がありますので注意して下さい。)

専用硬化剤は「第4類 第3石油類」の危険物となりますので消防法に従ってお取り扱い下さい。又、空気中の湿気と反応して増粘しますので、使用分だけを取り出して直ちに密封して下さい。

塗料の安全性には充分注意しておりますが、塗装作業中及び養生中にはよく換気をして下さい。

本品は水系塗料でありますので低温時には凍結しますが、解凍すれば問題ありません。しかし、できるだけ凍結させないように注意が必要です。
また、しっかりフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。
誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。